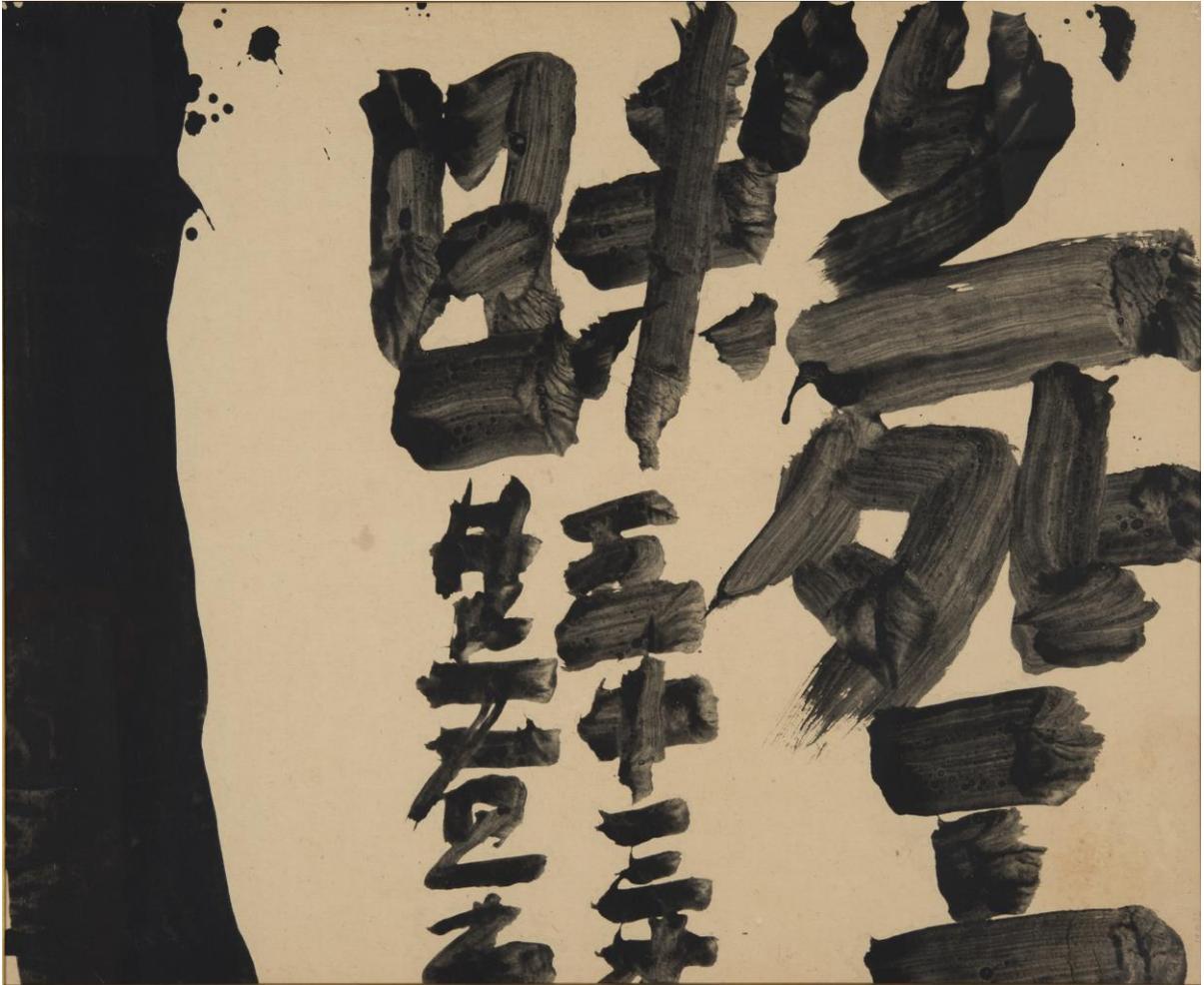


遠くて近い井上有一展



「必死三昧」 1969年 61.0×72.8 cm

展覧会会期

2015年4月4日[土]～7月26日[日]

菊池寛実記念 智美術館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル B1F

TEL03-5733-5131 FAX03-5733-5132 <http://www.musee-tomo.or.jp>

プレスレビューのご案内は最終頁をご覧ください。

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、私ども菊池寛実記念 智美術館の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび当館では2015年4月4日より「**遠くて近い井上有一展**」を開催いたします。

この度、菊池寛実記念 智美術館では、20世紀後半を代表する書家の一人である井上有一（1916-1985）の作品をご紹介します。

井上有一は、小中学校の教師として勤めるかたわら、創作活動を行い、書の道を追求しました。紙をはみ出して書かれる豪快な一字書や宮沢賢治の作品を基にした多文字書からは、命を削るようにして制作に打ち込んだ作家の気迫が伝わってきます。

本展では、書壇にデビューした1950年から晩年までの約40点によって、井上有一の創作を一瞥いたします。

本企画を多くの皆様にお知らせいただき、周知にご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

■■■展覧会概要■■■

- 展覧会名 「遠くて近い井上有一展」
- 会期 2015年4月4日(土)～7月26日(日)
- 観覧料 一般1,000円／大学生800円／小中高生500円
- 主催 公益財団法人菊池美術財団、日本経済新聞社
- 協力 ウナック トウキョウ
- 会場 菊池寛実記念 智美術館（〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-35 西久保ビル）
<http://www.musee-tomo.or.jp>
- 開館時間 午前11時から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）
- 休館日 毎週月曜日（ただし5/4、7/20は開館）、5/7(木)、7/21(火)
- 展示内容 井上有一の書31点（一字書11点、多文字書20点）、コンテによる作品7点、自画像1点、陶芸作品数点 合計40点余
※展示替え有り

展覧会に関するお問い合わせ 担当：島崎（☎03-5733-5131/ FAX03-5733-5132）

■■井上有一の書■■

東京、下谷に生まれた井上有一(1916～1985)は、画家を志すも、青山師範学校(現・東京学芸大学)に入学し、卒業後は小中学校の教員として勤めます。教職に就きながら美術研究所に通い絵の勉強を続けますが、断念し、書に転じるのは1941年のことです。

後に前衛書道を牽引した書家の一人、上田桑鳩に師事し、戦後は日展や毎日書道展で入選や受賞を果たしますが、1952年に森田子龍らと墨人会を結成し、書壇から離れ、書における自由な表現を追求します。アメリカの抽象表現主義に刺激され、絵画に近づいた制作に傾いていった当時の井上作品を象徴するのが、墨の代わりにエナメルを用いた文字を書かない抽象的な制作です。

しかし、それは約一年半、実質的な制作期間4か月で行き詰まり、「文字を捨てることで、文字の素晴らしさに気づき」、曰く「絵画へのよろめき時代」に終わりを告げます。そして、「大きく文字を書こう」と書きあげるのが、1957年にサンパウロビエンナーレに出品された「愚徹」です。その後「仏」「花」「貧」などの一字書を発表。西ドイツで開催されたドクメンタなど国際展に多数出品し、高い評価を得ます。国内においても個展や書展で作品を発表し、精力的に活動を続けました。

近年、井上の作品は、ドイツのランゲン美術館での二人展、中国の北京皇城芸術館での個展やアラブ首長国連邦の「シャルジャビエンナーレ 11」出品など、海外でも改めて注目されています。

生誕100年を間近に控え、本展では、一字書をはじめ、宮沢賢治の作品を基にした多文字書や晩年に制作されたコンテによる作品、その他、晩年の自画像や陶器もご紹介します。



「佛」1977年 143.0×179.0 cm



「放哉句 爪きったゆび」1973年 61.0×90.5 cm



「莫妄想」1969年



「宮沢賢治詩 五輪峠」1951年 70.0×195.0 cm

井上有一 (1916-1985) 略歴

1916 東京・下谷に生まれる。
1935 御徒町尋常小学校卒業後、東京府青山師範学校を経て本所区横川尋常小学校の教員となる。
1941 画家を志したが書に転じ、翌年上田桑鳩に師事する。
1945 3月10日東京大空襲に横川小学校内で遭い仮死。
1950 亡父百日忌に「自我偈」を書き自作の仏壇に貼る。これが上田桑鳩の眼にとまり創作の開眼となる。「第三回書道芸術院展」に初出品。
1954 「日本書道展」(ニューヨーク近代美術館)出品。
1955 「日米抽象美術展」(東京国立近代美術館)出品。「ヨーロッパ巡回現代日本の書展」(アムステルダム市立美術館、他5都市を巡回)出品。この頃、文字を扱わずに草箒・エナメルで洋紙に書く。
1956 『週刊朝日』特集「前衛書道」に掲載。
1957 第4回サンパウロ・ビエンナーレ展出品。出品作「愚徹」は後にハーバート・リード著『近代絵画史』に掲載。
1958 ブリュッセル万国博記念「近代美術の50年展」出品。
1959 「第2回ドクメンタ展」(カッセル/ドイツ)出品。
1960 作品「骨」国立近代美術館に収蔵。「中南米巡回日本絵画展」出品。「日本の書展」(フライブルク/ドイツ)出品。
1961 「第6回サンパウロ・ビエンナーレ展」出品。「現代絵画・彫刻ピッツバーグ国際展」出品。

1962 「現代日本の書 意味と記号展」(ダルムシュタット/ドイツ)出品。ツヴィルナー画廊(ケルン/ドイツ)で初個展。
1963 「書法と形象展」(アムステルダム市立美術館、バーデンバーデン国立美術館巡回)出品。
1965 クンスト・ミュージアム・フェライン(ヴッペルター/ドイツ)、ツヴィルナー画廊(ケルン/ドイツ)個展。
1966 「第1回日本芸術祭」(アメリカ)出品。神奈川県高座郡寒川町立寒川中学校教頭就任。
1971 「第5回日本現代書展」出品。『花の書帖』(求龍堂)刊、壹番館画廊(東京銀座)で『花の書帖』刊行記念展開催。寒川町立朝日小学校校長に就任。
1973 「戦後美術の展開展」(東京国立近代美術館)出品。
1976 「20世紀日本の書展」(西ドイツ巡回)出品。定年退職。
1977 『井上有一の書 '49-'77』(UNAC TOKYO)刊。
1980 作品「愚徹」国立国際美術館に収蔵。
1984 NHK教育「こころの時代_愚徹を書く」放映。
1985 6月15日逝去。
死後、代表作62点が京都国立近代美術館収蔵となる。また、「生きている井上有一展」(シブヤ西部シードホール)、「大きな井上有一展」(京都国立近代美術館/埼玉、福岡、新潟、山口巡回)など展覧会多数開催。

■ 展覧会関連行事

◆ **講演会** 15時より当館 B1 階展示室にて
(観覧料のみ、聴講無料)

4月25日(土)「白隠、前衛、井上有一」
講師：山下裕二氏(明治学院大学文学部教授)

5月30日(土)「現代書のあけぼの」
講師：笠嶋忠幸氏(出光美術館学芸課長代理)

◆ ナイトミュージアム

近藤等則

エレクトリック・トランペット ライブ

世界を舞台に活躍されるエレクトリック・トランペッターの近藤等則さんの演奏を、閉館後の展示室で、作品を間近にご覧いただきながら、お楽しみください。

出演：近藤等則氏

(エレクトリック・トランペッター)

日時：4月29日(水・祝)18:30開演(予定)
場所：智美術館展示室 定員：50名
参加費：3,500円(観覧料含む。当日観覧券をお持ちの場合は2,500円)
事前お申込み制：03-5733-5131

◆ **学芸員による ギャラリートーク** 当館 B1 階展示室にて(観覧料のみ、聴講無料)

4月18日/5月9日、23日/6月6日、13日、20日/7月4日 各土曜日、14時より

◆ **西洋館見学会** (予約制・定員20名様)

2015年5月16日、6月27日、7月18日 いずれも土曜日11時より

当館敷地内にある西洋館(登録有形文化財)は、大正時代に建てられた後、修復を重ねながらも建具等の室内装飾が丁寧に保全され、今日まで使用されている希少な建物です。通常、非公開の内部を上記の日程で限定公開いたします。

※西洋館のご案内(建築家 篠田義男氏による)、美術館観覧料(学芸員の解説付き)、レストラン ヴォワ・ラクテでのランチを含め、お一人様8,000円です。

■本展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースで紹介されている作品画像をデータでお貸し出しいたします。申込書のご希望の図版に☑を記し、用紙を返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階で事務局までお知らせください。お貸し出す画像データは本展覧会終了をもって使用期限とさせていただきます。作品の画像を1点以上ご掲載の上、本展をご紹介くださる媒体に対し、本展ご招待券を読者プレゼント用に提供いたします。申込書、所定の欄に招待券希望の旨を明記してください。

掲載に関するお問い合わせ先 菊池寛実記念 智美術館（担当：島崎）

TEL.03 (5733) 5131 FAX.03 (5733) 5132 <http://www.musee-tomo.or.jp/>

掲載・画像貸出申込書

返信先 FAX：03-5733-5132

●貴社基本情報

会社名：	
担当部署：	担当者名：
住所：	
電話	ファックス：
E-MAIL：	

●媒体情報

新聞 雑誌	媒体名：
	発行日：
TV ラジオ	媒体名：
	放送日：
ネット	URL：

●画像貸出リスト ※キャプションは画像貸出し時にお知らせします。作者・作品名・制作年を必ず入れてください。

希望に☑	タイトル、制作年、サイズ(cm)
<input type="checkbox"/>	1)「必死三昧」 1969年 61.0×72.8 cm
<input type="checkbox"/>	2)「沸」 1977年 143.0×179.0 cm
<input type="checkbox"/>	3)「放哉句 爪きったゆび」 1973年 61.0×90.5 cm
<input type="checkbox"/>	4)「莫妄想」 1969年 113.4×57.5 cm
<input type="checkbox"/>	5)「宮沢賢治詩 五輪峠」 1951年 70.0×195.0 cm

●読者プレゼント用チケット希望： 5組10名様 10組20名様

プレスレビューのご案内

展覧会の趣旨、作品解説など、内覧会に先立ちましてプレスの皆様にご説明申し上げます。
ご多用のなか恐縮に存じますが、どうぞご出席くださいますようお願い申し上げます。

菊池寛実記念 智美術館

プレスレビュー 2015年4月3日(金) 14:00～

14:00～14:45 展示室にて、展覧会のご説明、作品解説を行います。
展覧会の会場内をご撮影いただけます。

14:45～15:00 皆様からのご質問にお答えいたします。

会場： 菊池寛実記念 智美術館 〒105-0001 港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル B1
・日比谷線・神谷町駅出口 4b より徒歩 6分
・南北線・六本木一丁目駅改札口より徒歩 8分
・南北線／銀座線・溜池山王駅出口 13 より徒歩 8分
・銀座線・虎ノ門駅： 出口 3 より徒歩 10分

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAXにて

ご返信下さい。 **返信先 FAX 03-5733-5132**

会社名：	
担当部署、氏名	
住所：	
電話：	FAX：
Email	